



～授業参観、PTA総会お世話になりました～

4月27日(日)授業参観及びPTA総会等、たいへんお世話になりました。たくさんの保護者のみなさまが来校されている様子を見て、子どもたちに対する愛情を強く感じました。お忙しいとは思いますが、これからの様々な学校行事にご参加いただき、少しずつ成長していく子どもたちの姿を私たちといっしょに見守っていただければと思います。また、2年生は14日から沖縄への修学旅行、1・3年生は遠足がありますので、体調管理には十分気を配ってください。ご家庭でもご協力をお願いします。



1年生

「防災について」

阿南市のハザードマップで新野町の防災についても考えました。遠足の予習にもなりました。



2年生

「めざせ会話の達人」

コミュニケーションスキルを高めるための言語活動を行いました。ペアで楽しく行えました。



3年生

「日本文化への興味」

外国人観光客はどのような日本文化に興味を持つか？プレゼン形式の発表、がんばりました。

～学級目標、みんなの想い～

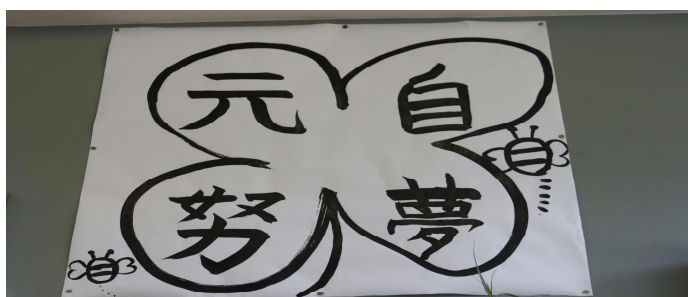
「目標を持ち、その実現のために考え行動できる生徒」

それぞれの学級目標が各教室に掲示されています。学級目標、それは学級に所属する一人一人の目標でもあります。力を合わせて、実現のために考え行動していきましょう。



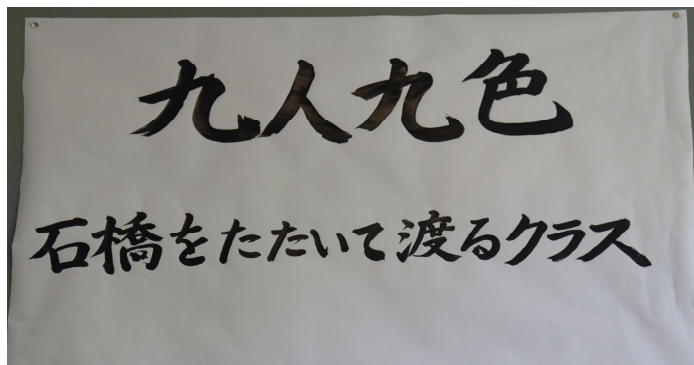
3年生 「心を磨く」

「人権感覚を養い、道徳的価値を理解し、自分で考えて行動にうつしていく実践力を身につける。内面を磨くことで周囲に愛される人になり、厳しい世の中を生き抜いていける人になってほしい。」3年生は進路選択に向けて、心の成長も考えています。



2年生 「元・自・努・夢」

夢をもち、元気に、自立を目指し、努力するという思いが込められています。「元自つにい努夢(現実に挑む)」という意味も兼ね備えているそうです。2年生みんなで意見を出し合って、リレー書道で仕上げました。



1年生 「九人九色

～ 石橋をたたいて渡るクラス～」

「九人がそれぞれの個性を活かして活躍していく。何事にもチャレンジしていくが、その際に慎重に取り組んでいけるクラスになる。」
1年間でどんな色になっていくか。成長が楽しみです。

『つれづれに…… Vol.2』

「ある日突然、二つの両腕を事故で失いました。失意のベッドの上で教えられたのは人のやさしさ、家族の温かさでした。そこから私の本当の人生が始まったような気がします。何度も何度も壁にぶつかり、その度に優しく手を差しのべてくれる人がいました。よし！私もこの残った体で何か人に喜んでいただける事はないか、お役に立てることはないか、そこからハガキ絵が生まれ、声がかかると、『ハーイ喜んで』と講演会にでかけました。家族に支えられ出会った人に励まされやまびこ塾生の皆とスケッチブックを片手に出会いの旅を楽しんでいます。言い訳なしの人生、両手にありがとう、出会いに感謝。」



2006年(平成18年)11月30日

本校で大野勝彦さんの「夢は叶う、笑顔、笑顔」と題された講演会が開催されました。

【夢は叶うもの思い強ければ】大野さんの自筆

大野さんは1989年(平成元年)に不慮の事故で両腕を失いました。しかしながら入院3日目より、“湧き出る生”への想いを詩に託します。さらに2か月目には、その喜びを水墨画に表現。さらに翌年2月には、熊本県立劇場で詩画の個展を開催しました。大野さん曰く、こんなにも早く絶望から抜け出すことができたのは、たくさんの方のやさしさ、家族の温かさだったそうです。私にも何かができる、誰かに私は必要とされている。その思いが大野さんを勇気づけ、奮い立たせたのではないのでしょうか。

入学式の式辞で、「自分の存在が大切にされると、やる気、元気が出てくる。自分を大切に、人を大切に、人にやさしく自分に厳しくできる新中生になってほしい。」と述べました。時に『やさしさ』は目に見えないものかもしれません。しかし、感じることはできます。私自身、自分の思いをどう表現すれば良いか悩んだり、失敗し続け、あきらめ、自暴自棄になったりしたこともあります。そんな折り、周りの人々のやさしさに触れ、やさしさを感じる事ができたとき、少しの活力が湧き、一筋の光が見えたような気がしました。今の私は、出会った様々な人たちから『やさしさ』をいただいたゆえに成り立っています。もちろん、感じ方や受け取り方は人それぞれです。しかし、『やさしさ』とは確かに存在するものなのです。それは大切な自分の存在と同じように。

写真の「夢は叶うもの思い強ければ」は北棟2階に飾られています。来校される機会にぜひご覧ください。

